

治癒証明書

久米川保育園

クラス

くみ

園児名

麻疹(はしか)	・	風疹	・	水痘(水ぼうそう)または帯状疱疹
流行性耳下腺炎(おたふく)			・	百日咳
流行性角結膜炎(はやり目)			・	咽頭結膜熱(プール熱)
インフルエンザ () 型	<	月	日	朝・昼・夜より解熱>
その他 ()				

月 日に上記疾患を発症され自宅療養していましたが、
月 日に治癒しました。

よって、感染のおそれはなく、月 日より通園しても差し支えない
ことを認めます。

年 月 日

【医療機関名・医師名】

印

治癒証明書

久米川保育園

クラス

くみ

園児名

麻疹(はしか)	・	風疹	・	水痘(水ぼうそう)または帯状疱疹
流行性耳下腺炎(おたふく)			・	百日咳
流行性角結膜炎(はやり目)			・	咽頭結膜熱(プール熱)
インフルエンザ () 型	<	月	日	朝・昼・夜より解熱>
その他 ()				

月 日に上記疾患を発症され自宅療養していましたが、
月 日に治癒しました。

よって、感染のおそれはなく、月 日より通園しても差し支えない
ことを認めます。

年 月 日

【医療機関名・医師名】

印

病名	潜伏期間	感染経路	主な症状	登園のめやす
麻疹 (はしか)	8～12日	空気・飛沫・接触 (ウイルス)	発症初期には高熱、咳、鼻水、目の充血、目やにがみられる。熱が一時下がるが再び高熱となり頬の内側に小斑点がでる(コプリック斑)。その後、顔や頸部に発しんがみられる。	解熱後3日を経過していること
インフルエンザ	1～4日	飛沫・接触 (ウイルス)	突然の高熱で、3～4日間続く。食欲不振、筋肉痛、関節痛、全身のだるさがみられ、咳、鼻水、のどの痛みも伴う。	発症した後5日を経過し、かつ解熱した後3日を経過していること
風しん	16～18日	飛沫・接触 (ウイルス)	発しんが顔や頸部に出現し、全身へと拡大する。約3日で消える。発熱やリンパ節腫脹を伴うことが多く、悪寒、全身のだるさ、眼球結膜充血等伴うこともある。妊娠初期は、罹患しないように注意が必要。	発しんが消失していること
水痘 (水ぼうそう)	14～16日	空気・飛沫・接触 (ウイルス)	発しんが顔や頸部に出現し、やがて全身へと拡大する。紅い斑点が盛り上がり、水疱、かさぶたと変化する。	全ての発しんが「かさぶた」化していること
流行性 耳下腺炎 (おたふくかぜ)	16～18日	飛沫・接触 (ウイルス)	主な症状は、発熱と片側ないし両側の唾液腺の腫れと痛みである。発熱は1～6日間続く。発症3日目頃がピークで、3～7日で消える。	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発症してから5日を経過し、かつ全身状態が良好になっていること
咽頭結膜炎 (プール熱)	2～14日	飛沫・接触 (ウイルス)	高熱、扁桃腺炎、頭痛、結膜炎である。	発熱、充血等の主な症状が消失した後2日経過していること
流行性 角結膜炎	2～14日	接触・飛沫 (ウイルス)	目が充血し、目やにが出る。幼児の場合、目に膜が張ることもある。片方の目で発症した後、もう一方の目に感染することがある。	感染力が非常に強いいため結膜炎の症状が消失していること
百日咳	7～10日	接触・飛沫 (百日咳菌)	特有な咳(コンコンと咳こんだ後、息をヒューという笛を吹くような音を立てて息を吸うもの)が特徴で、夜間多くみられる。	特有な咳が消失していること又は5日間の適正な抗菌薬による治療を終了していること

病名	潜伏期間	感染経路	主な症状	登園のめやす
麻疹 (はしか)	8～12日	空気・飛沫・接触 (ウイルス)	発症初期には高熱、咳、鼻水、目の充血、目やにがみられる。熱が一時下がるが再び高熱となり頬の内側に小斑点がでる(コプリック斑)。その後、顔や頸部に発しんがみられる。	解熱後3日を経過していること
インフルエンザ	1～4日	飛沫・接触 (ウイルス)	突然の高熱で、3～4日間続く。食欲不振、筋肉痛、関節痛、全身のだるさがみられ、咳、鼻水、のどの痛みも伴う。	発症した後5日を経過し、かつ解熱した後3日を経過していること
風しん	16～18日	飛沫・接触 (ウイルス)	発しんが顔や頸部に出現し、全身へと拡大する。約3日で消える。発熱やリンパ節腫脹を伴うことが多く、悪寒、全身のだるさ、眼球結膜充血等伴うこともある。妊娠初期は、罹患しないように注意が必要。	発しんが消失していること
水痘 (水ぼうそう)	14～16日	空気・飛沫・接触 (ウイルス)	発しんが顔や頸部に出現し、やがて全身へと拡大する。紅い斑点が盛り上がり、水疱、かさぶたと変化する。	全ての発しんが「かさぶた」化していること
流行性 耳下腺炎 (おたふくかぜ)	16～18日	飛沫・接触 (ウイルス)	主な症状は、発熱と片側ないし両側の唾液腺の腫れと痛みである。発熱は1～6日間続く。発症3日目頃がピークで、3～7日で消える。	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発症してから5日を経過し、かつ全身状態が良好になっていること
咽頭結膜炎 (プール熱)	2～14日	飛沫・接触 (ウイルス)	高熱、扁桃腺炎、頭痛、結膜炎である。	発熱、充血等の主な症状が消失した後2日経過していること
流行性 角結膜炎	2～14日	接触・飛沫 (ウイルス)	目が充血し、目やにが出る。幼児の場合、目に膜が張ることもある。片方の目で発症した後、もう一方の目に感染することがある。	感染力が非常に強いいため結膜炎の症状が消失していること
百日咳	7～10日	接触・飛沫 (百日咳菌)	特有な咳(コンコン咳こんだ後、息をヒューという笛を吹くような音を立てて息を吸うもの)が特徴で、夜間多くみられる。	特有な咳が消失していること又は5日間の適正な抗菌薬による治療を終了していること